

第 87 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :樹林環境の順応的管理—

7月の研修会は、皆伐更新した森林の順応的管理を実施しました。



天候は曇りとあまり良くなかったのですが、とても涼しく外での活動には最適でした。

里山体験館の前には風鈴とひょうたんが生っていて夏を感じられます。



講師から今日の作業の説明です。

今回は、実生のコナラの周りに生えている更新阻害植物の駆除・除去、コナラの実生の位置確認と皆伐更新地区の植生（木本）の確認を行います。



午前中は、コナラの実生の周りに生えているアカメガシワ、ハリエンジュ、カラスザンショウの
駆除・除去を行いました。



○コナラの実生

皆伐更新地区は、コナラを中心とした森林にしていきます。
なので、コナラの周りに生えている、成長の早いアカメガシワなどを除去し、
コナラに光が当たり順調に育つよう作業を行います。
来月以降は、アカメガシワ・ハリエンジュ・カラスザンショウの他に、
常緑樹のシラカシ・ヒサカキも除伐していく予定です。



作業をした実生のコナラには、位置がわかりやすいように目印を立てていきます。



昼食後は、恒例の環境関連のニュースや気になる事について話し合いました。皆さんの普段の活動の中で感じたことや、気になるニュースなど取り上げられいろいろな意見を交わしながら話が進んでいきました。



午後も引き続き、更新阻害植物の除去とコナラの目印付けを行います。
コナラに目印を付けることにより、どの場所に多く生えていて、
どの場所に足りないのかがよく分かります。
コナラの足りない場所や不足している樹種については、
今後植林をしていく予定です。



アゲバの幼虫



ルリボシカミキリ

作業中にたくさんの生きものにも出会いました。
若返っていく森林にこれからどんな生きものたちがやってきてくれるか、今から楽しみです。



コナラの目印立ての後は、伐採後どのような植物が生えてきているのか調べるために、
皆伐更新区域内の植生調査を行いました。
区域内の落葉樹を各自7種類程探し、講師に報告していきます。
たくさんの植物があり、どれが落葉樹なのか見分けるのも探すのも大変です。



今回の植生調査では、エノキ・ムクノキ・ヌルデなどの
落葉樹を含め約31種を確認することができました。

今までの暗い林から明るい草地的環境に変わる事によって、
暗い環境では生えてくるが出来なかった植物が多く育ってきています。



今回の研修はこれで終了です。

次回は、皆伐更新区域での研修のほかに湿生生態園での水辺環境の管理について
研修を行う予定です。

夏真っ盛りの暑い中での作業ですが、この場でしか経験できないことや、
多くの生きものに出会える貴重な機会になると思いますので、ご興味のある方は是非ご参加くだ
さい！